社說

萬國博覽會の出品に就て

明治三十三年佛國巴里の萬國博覽會には我國よりも出品の筈にて其費用として三十年度より三十四年度の五年間に亘る繼續費九十萬圓餘を支出するみとに決し既に夫れ〳〵準備中のよし我輩は政府の筋に於ても出來得る限り保護奬勵の手段を盡して成る可く出品の多からんことを希望するものなれども先例に徵するに前年の巴里博覽會と云ひ又シカゴの同會と云ひ我國の出品は數の多少は兎も角もとして其品物は彼の地にて賣却するの目的にて價の安きを專一としたるが故に是れぞ日本の工藝美術の標本なりとて大に我技術の特色を發揮し外國人の注意を惹きたるものは甚だ少なかりしが如し會場を實見したる人の話に諸外國の出品を巡覽し去りて我陳列場に入れば規模の小なるは致方なけれども其陳列品は孰れも十把一束の安物にして恰も東京邊の勸工場を見るの觀なきに非ず外國人なれは物珍らしの氣に我陳列場に群集して評判も好く賣品も多かりしかども其有樣は淺草の仲見世にれもちやの類を買ふと一般にして單に一時の慰みに過ぎず外人をして眞實日本技術の本相を知しむる程の出品なかりしは遺憾なりと云へり畢竟我國の出品者は資本に窮ならざるが故に時と金とを費して精巧の製品を出しながら若も其出品が陳列中に賣ずして空しく送還さるゝときは空しく損失して其損を償ふの見込なきよりして只賣るを目的として殊更らに安き品物を出したるのみ無理もなき次第なれども本來博覽會の出品は工藝製作の伎倆を廣く世界に示して評判を博し永く他日に利せんとする者にして現品の賣るゝと賣れざるとは勘定に入る可きに非ず只精巧を勉めて外國人の注意を惹くの用意みを肝要なるに折角の出品も斯る有樣にては實際に左まての効能なかる可し我輩の感服せざる所なり今度の費用は九十萬圓にして從來に比して多きが如くなれ共其費用は出品の運送保險又は會場の飾付出張員の旅費等に供するものにして特に技術家に保護を與へて精巧の品物を製出せしむるの餘裕はある可らず政府に於ては成る可く精巧品を得んとするの考にや內地の美術會共進會等の出品中にて相當と認めたるものは自から買收して自から出品する旨を公告したれども僅々の費用にて廣く求めたりとて如何なる品物が手に入る可きや殊に美術會共進會等の出品は本來內國人を目當に造りたるものなれば萬國博覽會の會場に出して外人の耳目を惹くに足る可き製品を得るは實際に難しと云ふ可し就て我輩の所見を以て愛に一案ありと云ふは政府の保護奬勵にて普通の出品に精巧のものを望むは到底出來ざる相談なれば世間の富家大家の人々が自から金を投じ極彩の技術家に命じて思ふ存分に工風を費し眞實日本の美術工藝品を拵して恥かしからざる精巧の物を造らしめて自から出品する趣向是れなり今日の實際に富豪の人々は古書畫美術品等を弄ぶが爲めに少なからざる金を費すは言ふまでもなしから此方に向て其為れを弄ぶは一種の好事のみかは國家に對しては自から其奬勵奬勵を爲す可し運命の責任なるものにして事ろ喜ぶ可き所なり今日の人々が自から樂しむの目的にて造らしめたる其品物を出品するは只暫時の間愛を割くまでのみとにして毫も自から損する所はなかる可し而して出品に就て往復の運賃并に其保險は政府にて負擔するみと勿論として代價の如きは思ひ切て高くす可し素より賣るの目的に非ざれども若しも强ひて所望のものあらんには出品人の考次第にて賣却するも差支ある可らず即ち其代價を以てすれば更らに精巧のものを得るに難からず只みれを得るまでに多少の日月を要するに過ぎざるのみ即ち此趣向にするときは出品人は毫も迷惑を感ぜずして充分精巧の出品を見るに至る可し抑も日清の戰爭以來外國にては日本の評判殊に高くして何事にも注目する折柄萬國博覽會に其職勝國の出品とあれば必ず他の耳目の集點たる可きは必然なるに實際に其陳列品を見れば矢張り前年と同樣恰も勸工場の賣品に異ならずして毫も一新の賞なしとありては彼等の失望一方ならざるのみか自から日本の評判にも關係して其結果甚だ妙ならざるものあり可し我輩は富豪大家の人々が暫時の間好事の愛を割くの心にて自から出品の勞を取らんみとを勸告するものなり

○北京特報

（四月廿七日）　特派員　杉幾太郎

償金皆濟の運動
償金殘額一億兩の支拂に就ては之を一時に皆濟して以て其利子と

清國が日本へ返却すべき償金殘額一億兩の支拂に就ては之を一時に皆濟して以て其利子と共に威海衛駐兵費をも免かれんと頻りに計畫の由は已に報道せし所なるが此外償の事も何分娘一人に婿十人と云ふ姿にて獨獨佛英何れも吾れと其地位を占めんとし運動奔走怠り無く殊に四月に入りてより其運動一層花々しき中にも獨逸は最も熱心にて初の程は地租を抵當に申込みたれど情國が中々に聞込るべき樣子なきより遂に茶稅鹽稅とまで下落して貸金を勸めたるも清國も已に多少の經驗を重ねし事とて容易に斯かる外國勢力を植ゆるの手には乘らざるべし蓋し獨逸の意思は疑ひもなく海關事業のローバートハート氏に於けるが如く茶鹽稅を抵當とし獨逸人をして之を監督せしめ其權を掌中に握らんと欲せる者なれば清政府の恐るゝも强ち無理ならず況んや遼東の還附は偶ま以て露國に種々無心の口實を與へ折角取り返せし遼東は却て露國の踏臺と化し去らんとするより寧ろ初より該地を日本に讓與し敵をして敵を制せしむるみと良策なりしなれとの議論朝野に多き時節に於てや然れば此邊の意味を會得せる李鴻章氏は露同鮮氏とも評議を重ね外國政府干渉の僧財は斷じて爲さゝるべしとて兼て久しく清國に滯在し朝野に交際多くして策士事業家と稱せられたるドクトル　ダッジョン氏を招き當に其相談を掛けたるは今より一ケ月以前のことなるが爾來ダ氏は幾たびか中堂と會見を重ねたる結果聞ば其相談も纏りし樣子なりダ氏の出金は素より英國ロンドン資本家の團裏より出づるなるべけれども兎に角全く政府公使館の關係以外に一個商人としての貸金にして其抵當の如何は未だ知り得ざれども戶部入款年々八千餘萬兩あれば或は其中より抵當を見出す事ともなるべきか若し果して之を實行するに至らば我輩は清國の利益を祝するものなり

袁世凱の計畫

小站に新兵を統督せる袁世凱氏は今度入京して恭親王に謁し更に順天府尹胡橋芝氏と同伴して下津したり其用向は增兵の一條にして同氏の希望は現時の新兵を二萬にせんとするに在れども到底一時に行はれ難き事なれば差當り三千を增加して一萬となさんとする見込なりと云ふ袁氏が此程恭親王に呈せし書翰には種々國家の大計より說き始め今や露は北に英佛は南に在りて虎視眈々たり若し不幸にして一朝干戈を動すに至らば我が中華の大國を以てするも之を防備するの兵士なきは豈に寒心の至りに非ずや宜しく今より新訓練兵士を養成して以て大に非常の時に備ふる所なかるべからずと云ふに在りて其部下なる巫小山とて嘗て獨逸に留學し天津武備學堂總教師たりし人をして獨、佛、露英及び日本等の兵士の模樣を畫かしめたるものをも送呈せしといふ又胡氏の下津は鐵道材木の買入れの爲めなりと云へり其實恭親王より命を受けて王總督と增兵の軍餉に關し協議する處ある爲めなりと云へり

○福鳴通信

五月八日發

●氣候　當地は過日來季候兎角不順にして雨天多く寒暖の劇變甚し

●靈兒景況　信夫、伊達の二郡は本月四五日頃より掃立に掛れり昨年は桑樹に大霜害を被りて靈兒を投棄するに至りしが本年は先づ以て發育充分なる狀況なり

●米商　當地の仲買人は十四五軒あり目下商況不振の姿にて客筋も大に出入を減じ從て花々しき取引絕てなし

●參謀旅行　野津大將の一行は本日正午來着し縣會議事堂を以て事務室に充て專ら今回の演習に關する取調に着手せり

●憲兵屯所　當地に設置せらるべき憲兵屯所は其位置等未だ確定せざるも少尉以下々士三四名既に着任せり

●警察　目下世上の一問題たる東京れ茶の水視察婦人に就ては當地警察本部に於ても警視廳より廻送し來れる寫眞を復寫し各警察署へ配置して探偵廻る殿樣なり

○伯耆境港通信

五月七日發

●商業　朝鮮及び浦鹽斯德に航行する船舶日に多く隨て出張稅關吏の多忙事るみと他の特別に比にあらず頃日又當地の豪商西久平氏は將來直輸出の目的にて試に米、醬油、海產物其他雜貨の見本品を英領加奈陀に向け輸送せり

●淺渫工事　落口淺渫の工事已に落成し如何なる大船も岸頭に投錨するを得て復た昔時の如く淺瀨に乘り上ぐる憂なし

●住人　遠近より支店或は本店を移す者少なからざるを以て貸家の如きは未だ作事を缺ぐるに寄寓者已に定まるを例とせり

●地價　特別輸出港になりしと鐵道敷設期の近づきたるを以て土地の價非常に騰貴し是迄一坪壹圓內外なる當港附近の地も處に依り現時は拾五六圓の高價を見るに至れり

○熊本特報

●國權黨の評議員會を開き大谷派九州末寺の大會は昨今兩日八十名餘にして

●麥作　は初の樣なりしも其後天候不順の爲め今回の麥作は三眠後にして年作ならんかと思はるるときは之れが豫防に居れり

●靈兒　先月十日は三眠後にして候不順の爲め靈兒同盟銀行總會の本年は鹿兒嶋に於ての事に決し來の筈にて引續き新茶初輸出

●新茶　直日新茶百斤を輸出が傭人賃銀の如き惑し居れり

●築港問題　際崎事に就き競爭し有樣となれり

○還幸啓御

肇、十七日東京記せしが右は未は御都合次第如き表するに至らず先發員の詳へしめ又內務鐵道六日ならんとの

○米國軍艦

ロング氏專ら老チック號及び水却するみとに定號も廢艦となるウイルミントン編入し一隻は南來る筈なりと

○交詢社常議員

詢社にて常議員岡本貞烈、福澤郎等の諸氏出席常議員會長に事に小幡篤次郎り一回散會した

○慶應義塾

日同塾構內の運を懷すよし

○マッキン

員を選したるみ